

6管 蛍光表示管キット Vacuum Fluorescent Display

LD8035

LD8035-BOARD KIT

6管ダイナミック蛍光表示管基板

メカトロ&エレクトロパーツ KYOHITSU

Digit デジット

〒556-0005大阪市浪速区日本橋4-6-7

TEL(06)6644-4555 FAX(06)6644-1744

<http://digit.kyohritsu.com/>

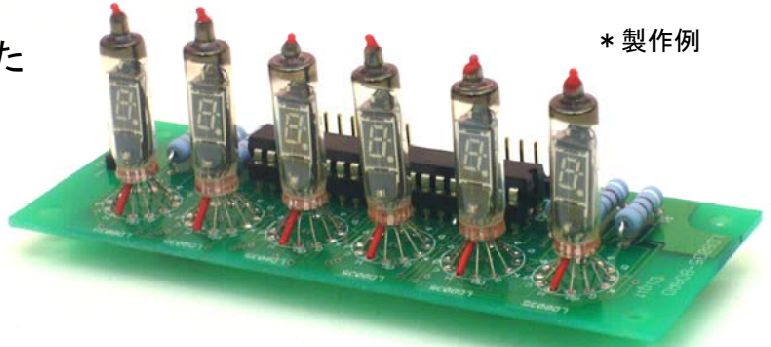
定休日: 毎週水曜日及び第2、第3火曜日

営業時間: AM10:00~PM8:00

概要:

蛍光表示管(LD8035E)を6管使用したダイナミック式のユニット基板です。

注意: LD8035Eのグリッド電圧は本来12Vですが、このキットではより明るく表示させる為18Vで動作させています。
(最終的に24V位で実験済です)



* 製作例

注意:

- 表示管は個々に明るさ等のばらつきがあります
- 定格以上の電圧を掛けると、表示管の寿命に影響があります

入力電圧による抵抗値

入力電圧	抵抗	カラー
12V	1W 620Ω	青赤茶金
18V	1W 910Ω	白茶茶金
24V	1W 1.2kΩ	茶赤赤金

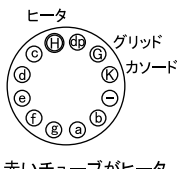
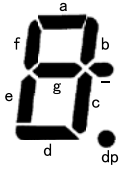
データ LD8035E(NEC)

グリッド: 12V 0.85mA

フェラメント: 0.8V 26mA

8セグメント

管を裏から見た図

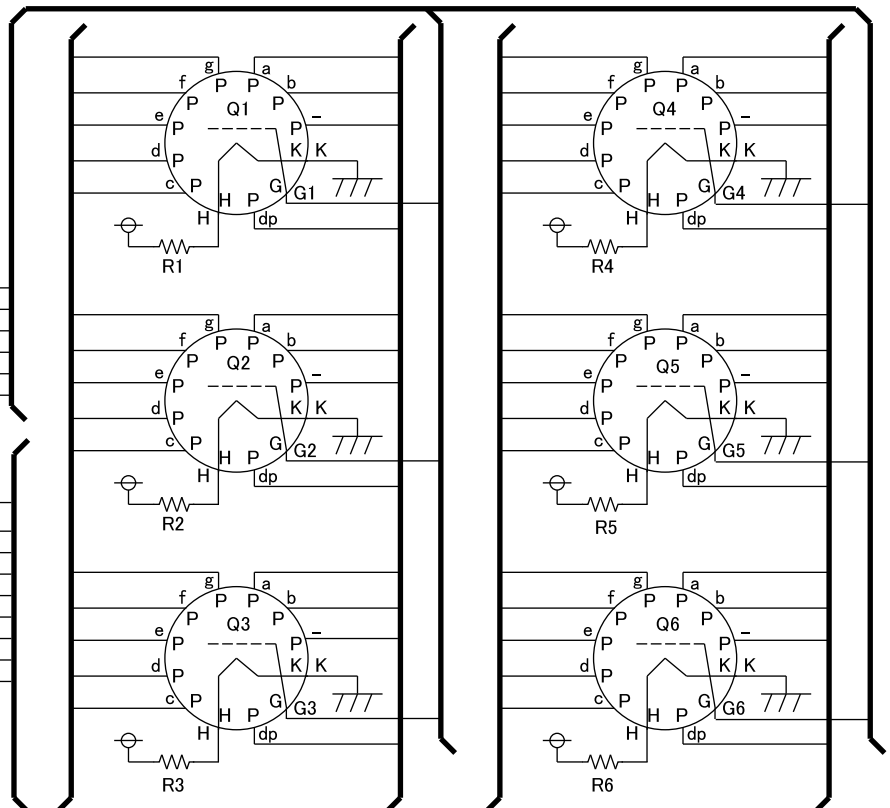
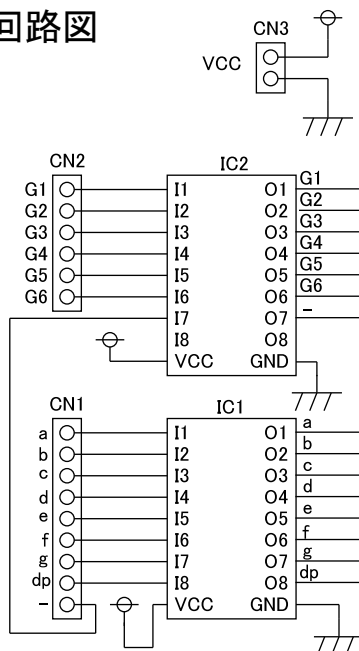


* 赤いチューブがヒータ

部品リスト

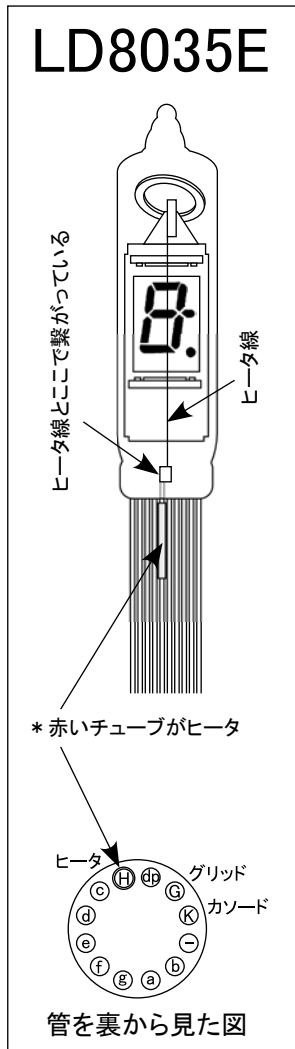
	品名	型番/値	個数	シルク	備考
1	基板	LD8035-BOARD	1		
2	蛍光表示管	LD8035E	6	Q1~Q6	
3	トランジスタアレイ	TD62783AP	2	IC1,IC2	
4	抵抗	1W 910Ω	6	R1~R6	白茶茶金
5	ICソケット	18PIN	2	IC1,IC2	
6	ヘッダーピン	1×9PIN	1	CN1	
7	ヘッダーピン	1×6PIN	1	CN2	
8	ヘッダーピン	1×2PIN	1	CN3	

回路図

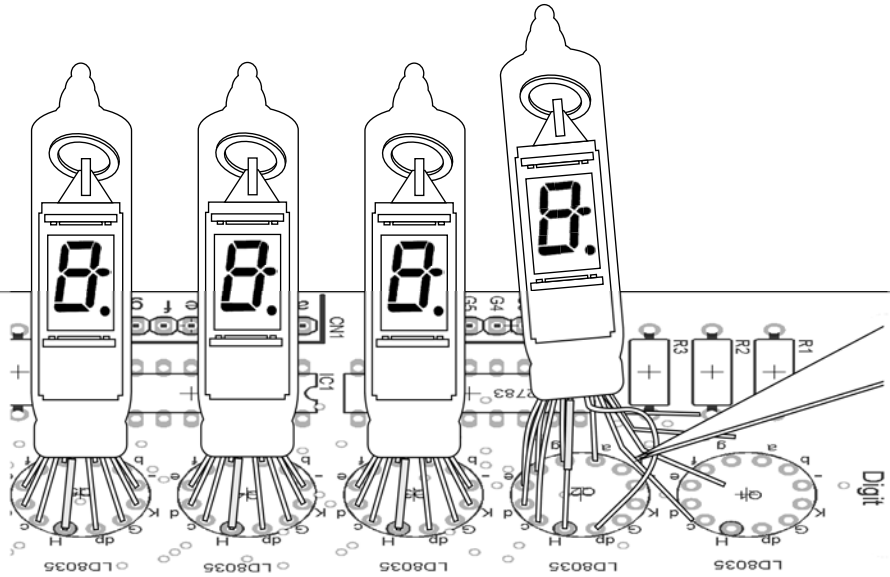


組み立て手順:

1. ICソケット、IC、蛍光表示管には向きがありますので、ハンダ付けには注意してください。
2. 手順としまして、丈の低いパーツからハンダ付けします。
3. 蛍光表示管は、赤いチューブの付いたヒータ(H)線を目印に、ピンセットで差し込んで行き、ハンダ付けします。(赤いチューブは予め長さを調整してから取り付けます)

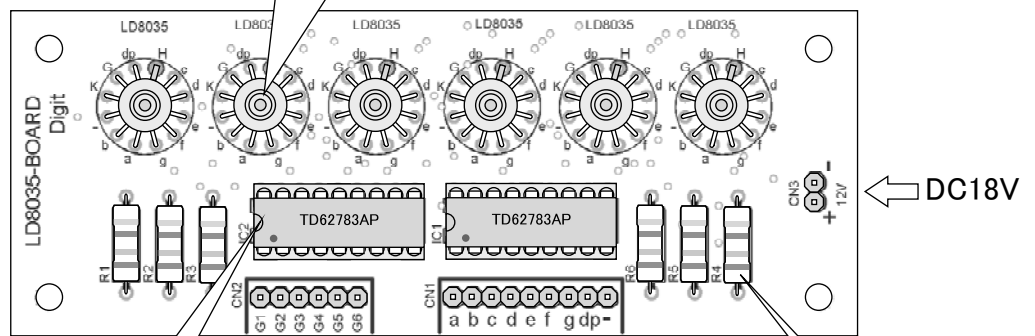


蛍光表示管は端から順番に取り付けていきます



* 下の図と向きが逆になっています

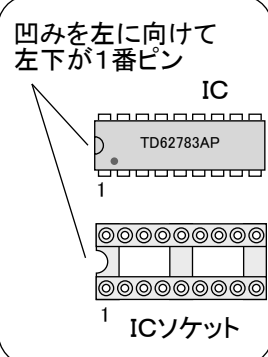
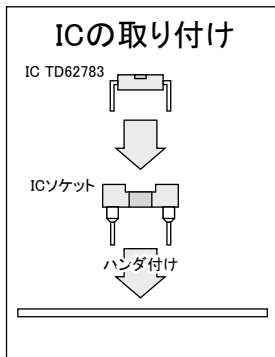
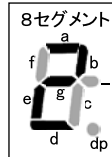
表示管の赤いチューブの付いた線を基板のシルクHに挿します



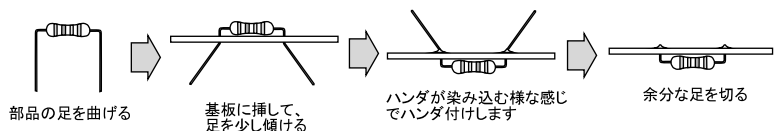
CN2とCN1はDC5Vです
(電源のGNDと共通にします)

表示の仕方:

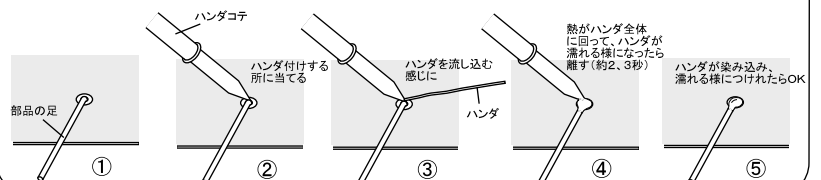
例えば基板シルクQ1の表示管で「2」を表示させたい場合は、CN2の「G1」とCN1の「a,b,d,e,g」に5V加えると「2」を表示します。



基板に部品をハンダ付け



ハンダ付けの仕方



説明書編集者からのお願い:
間違い、解り難い所があれば、デジタスタッフに
どんどん申し出てください。
この説明書は予告無しで変更する事があります。